



RENKEI

第28号

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター

TEL：(0852)61-3741 FAX：(0852)21-5377

メールアドレス：renkei@shakyou-matsue.jp

住所：〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい ▶▶▶

松江市在宅医療介護

検索

まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協会 令和6年度 ACP市民公開講座

「人生会議 ～今も、そして最期の時も、 ずっと自分らしく生きる～」

令和6年11月30日(土) まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協会 市民公開講座を開催。フリーアナウンサーのおがっちさん(小片 悦子 氏)をゲストにお迎えし、朗読劇・講話・パネルディスカッションを行いました!当日は、松江市民とスタッフ合わせて約100人のみなさまと一緒にACPについて一緒に考えることが出来ました。

松嶋 永治 会長(松江市医師会 副会長) ご挨拶



1. 朗読劇

松江市内医療・介護関係者から、人生会議を行なったエピソードを募集。実際に行われた人生会議をもとに作成したオリジナルストーリーで朗読劇を行いました。おがっちさん演じる86歳の松子さんが、心不全という病を抱えながら、人生会議を行い最期まで自分らしく過ごす姿を描いたお話でした。出演者みなさまの感情がこもった演技で、松子さんのACPをしっかりと表現していただきました!

出演者の皆様

- ◆ 松子さん役：おがっちさん
- ◆ 医師役：伊藤 健一 先生 (松江市医師会 副会長)
- ◆ 訪問看護師役：山城 浩子 さん
(島根県訪問看護ステーション協会松江支部 副支部長)
- ◆ ケアマネジャー役：井上 龍一 さん
(松江地域介護支援専門員協会 会長)
- ◆ 息子役：濱田 龍 さん
(しまねリハビリテーションネットワーク 理事)



おがっちさんの
出雲弁が、物語を
よりリアルにして
くれました!



2. 講話・座談会

朗読劇に出演いただいた伊藤先生、山城さん、井上さんより、医師・訪問看護師・ケアマネジャーの立場から、人生会議に関するそれぞれの役割等についてご講話いただきました。

その後、朗読劇や講話の内容を交えて、ゲストのおがっちさんと一緒に、「在宅看取りとACP」について意見交換を行いました。

- ◆ 座長 内藤 晋一 先生 (松江市歯科医師会 副会長)
- ◆ ゲスト おがっちさん

座談会

◆内藤座長より『終活支援ノートを渡すタイミングはいつでしょうか?』

伊藤先生) きっかけが難しいけれど、退院された時や家族が亡くなった時と考えています。

山城看護師) 実際に渡したことはないのですが、在宅訪問時にこれからどうしたいか聞いています。

井上ケアマネジャー) 本人から心配事の相談があった時や退院時に渡しています。

◆内藤座長より『家族と話したことがありますか?』

おがっちさん) 3年前に父を亡くしましたが、昔気質で話が出来ませんでした。銀行関係の暗証番号やパスワードで困ったので、終活ノートがあったらと思いました。義母の介護をした経験では、介護している方がブルーになりましたが、ケアマネジャーさんの支援をもらい、とても感謝しています。ケアマネジャーの存在を広く知ってもらう必要があると思います。

伊藤先生) ケアマネジャーは、長く関わり家族のような接し方をされていますね。

内藤座長) ケアマネジャーは重要であり、扇の要のような役割と思うので、ぜひ頑張ってください。

◆内藤座長より 会場の皆様に質問『個人的には、家で亡くなりたいですか? 病院ですか?』

挙手..... 意外に、病院が多いですね。

伊藤先生) 人それぞれですね、いずれにしても体制を整えることが大事だと思います。

山城看護師) 母親を在宅で看取りましたが、体制を整えてもらい不安が少なかったと思います。

井上ケアマネジャー) 本人の意向が一番で、価値観も多様化していると思うので、本人に合わせて支援を行いたいです。



会場から質問も
いただき、大変盛り
上がりました!!

♪ 参加者からいただいた感想の一部をご紹介します ♪

健康な時から自分の気持ちを
考えておくことが大切、終活
支援ノートはツールとして
人にも勧めたい



ACPは自分だけでなく自分に
関わる人たちにとっても大事
なことだと思いました



医師をはじめいろいろな職種
が関わっておられてよかった
し、おがっちさんの話も
面白かったです



救急車利用チェックシートの普及・啓発活動について

当センターと松江市消防本部は、住民の皆さんの救急時に備え、円滑な救急医療の連携が取れるよう、日ごろからの準備（「救急医療情報」「救急車利用チェックシート」など）を紹介しています。

救急車利用チェックシート

患者さん情報（事前記入欄） 記入日： 年 月 日

（ふりがな）	性別 ☐ 男性 ☐ 女性
（氏名）	
（生年月日）	年 月 日 年齢（ 歳）
（住所）	
（既往歴）	
（現病歴）	
（服薬状況）	☐ 抗凝固剤 ☐ インスリン ☐ 降圧剤 ☐ その他（ ）
（アレルギー）	☐ 無 ☐ 有 有の場合（ ）
（普段の様子）	☐ 支援なし（認定申請未含む） ☐ 要支援1 ☐ 要支援2 ☐ 要介護1 ☐ 要介護2 ☐ 要介護3 ☐ 要介護4 ☐ 要介護5 【特記】
（主となる家族等）	氏名（ ） 続柄（ ）
（家族等の連絡先）	電話（ ）
（かかりつけ医）	（ ） 病院・医院（ ） 医師
（搬送希望医療機関）	病院名：

救急要請時記入欄 ※記入できなかった場合は、口頭で救急隊へお伝えください。

最終発着時刻	時 分 ※ 院内治療が必要になる場合があります。
※ 準備してほしいもの ・お薬手帳か薬の調物	【測定時刻： 午前・午後 時 分】 呼吸： 回/分 脈拍： 回/分 血圧： / 体温： ℃ SPO ₂ ： % 酸素（ 瓶）

救急車への施設職員等の同乗について

○ 搬送先医療機関での早期治療に資するため、救急車への同乗にご協力ください。
 ○ どうしても救急車に同乗できない場合は、施設の連絡先と担当者氏名をご記入ください。
 医療機関から問い合わせがあった場合は、詳細な情報を伝達してください。

施設名： 施設連絡先： 担当者：

*本記録表は、救急業務以外に使用しません。救急搬送終了後に、救急隊が責任をもって始末いたします。
 *救急要請時に本記録表を使用することを、予め、患者・家族の了承を得ておきましょう。

【松江市消防本部】
2024.2.28改訂

松江市内は高齢者施設が増えてきており、施設から救急搬送される件数も増加しています。もしもの時に、施設の職員があわてず情報収集を行ったり、搬送先の病院が必要な情報を受け取ることが出来るよう、救急車を利用する際に役立つチェックシートを松江市消防本部とともに検討し、松江市内の高齢者関連の施設に周知をしています。R5年度、施設対象に「救急車利用チェックシート」の利用状況を調査したところ、「救急車利用チェックシート」の利用は、50%余りで、施設独自で作成したシートを使用している施設が25%余りでした。残りの25%弱の施設は、救急車利用チェックシートを知らないという結果が出ましたので、今年度は、それらの施設17か所に周知目的で訪問を行いました！

松江市内の施設や病院から



このシートがあれば、施設として何を救急隊に伝えればよいか分かるので、あわてない



施設から付き添いがいない場合でも連絡先が書いてあるので、病院としても助かっている

等の声があがっており、地域の関係者と医療機関のスムーズな連携の一助になっているのではないかと思います。

松江市在宅医療・介護連携支援センターでは、こんな相談をいただいています！

医療・介護の連携に関する相談をお待ちしております。

相談	対応・結果
訪問看護師から研修会についての相談 今年度の介護報酬改定をうけて、虐待防止対策について講師を迎えて研修を開催したい。高齢者の虐待について訪問看護師向けの研修をしてくれる講師を紹介して欲しい。	地域包括支援センターは高齢者虐待対応機関であり、チームとして専門的に関わっている。地域包括支援センターに相談し、講師を打診し了承あり。包括支援センターの社会福祉士が講師として参加した。
病院から身寄りがいない人への対応についての相談 他市の病院より松江市に住所がある身寄りのない方が入院している。退院支援を行うにあたり、身寄りのない人の支援に参考になるような物はあるか？あれば紹介して欲しい。	「松江市身寄りのない方への支援ガイドライン」について説明する。さらに、相談先として患者の住所がある包括支援センターを紹介し、身寄りのない方への支援ガイドラインをお送りした。
ケアマネジャーから歯科往診について 要介護認定を受けている方について。現在、歯科医院に通院しているが、高齢になってきて通院が難しくなってきた。どこか往診してくれる歯科医院はないか？	島根県歯科医師会「歯科の往診ほっとライン」を紹介する。また、利用者自宅の近くにある医院に直接連絡し、往診可能か確認してもよいのではと助言する。

インフォメーション

松江市在宅医療・介護連携支援センター 公式LINE 開設しました!!



このような医療・介護関係者の声をうけ、在宅医療・介護連携支援センターでは、公式LINEを開設し、みなさまに研修情報や医療・介護連携に役立つ情報をお届けしています。

松江市の医療・介護関係者の皆様へ



松江市在宅医療・介護連携支援センター LINE 友達募集!!

研修情報へのアクセスやお申込みがスマホから簡単にできます♪

松江市の医療・介護関係者の皆様へのタイムリーな情報発信ツールとして、「LINE 公式アカウント」を開設いたしました。研修情報を中心に医療・介護連携の最新情報などをお届けしていききたいと思います。ぜひお友達登録してください!!

LINE お友達登録方法

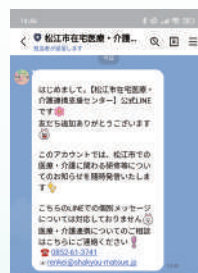
- 1 LINE アプリを起動
- 2 人のアイコンをタッチして、【QRコード】を選択
- 3 右にあるQRコードを読み取り、友だち追加!



ご登録などわからないことがあれば、
お気軽にご連絡ください!!



LINE アプリのインストールが必要です



お問い合わせはこちらから ▶ 松江市在宅医療・介護連携支援センター
TEL : 0852-61-3741 E-mail : renkei@shakyou-matsue.jp